

大学評価学会 第14回年次総会

2017年3月4日(土) 承認/龍谷大学(深草キャンパス) 和顔館 B107

大会校挨拶(未定)

大会実行委員会挨拶(重本委員長)

1. 議長選出(理事:小池、会員:金丸)
2. 2016年度活動総括(案)について

〈学会年報〉

- ・第12号の発刊(2016.12.10) / ISSN(国際標準逐次刊行物番号)の取得
- ・編集委員会の開催及び随時メールにての協議 / ・第13号の編集

〈シリーズ本〉

- ・シリーズ本第7巻『大学評価と「青年の発達保障」』発行(2016.5.30) / 第8巻編集委員会の立ち上げ

〈研究会活動〉

- ・第49回研究会 2016年7月23日(愛知工業大学) 約20名参加
中嶋「大学・学問の大衆化と大衆の自己解放」/中山「短期大学における教育実践と教職員集団」
- ・第50回研究会 2016年11月20日(駒澤大学) 約15名参加
細川「大学設置法人の会計基準—国立大学法人与学校法人」

〈関連の取り組み〉

- ・日本教育学会第75回大会 RT「大学の自治とガバナンスの改変(その3)」2015年8月23日(北海道大学)
- ・JSA第21回総学 2016年9月2-4日(龍谷大学) 関連企画の開催
- ・東洋大学男女共学100周年記念の共同企画 2016年11月19日(東洋大学) 約40名参加
紀「マイノリティと大学—排除・多様性・包摂」/西垣「『みんなに届く大学教育』の探究—青年の発達保障の観点から」/朴木「大学教育の形式的機会均等から実質的機会均等へ」

〈委員会等の活動〉

- ・JSPS科研費(基盤研究B)「後期中等・高等教育における『無償教育の漸進的導入』の原理と具体策に係る総合的研究(略称「無償化」) 科研/代表・渡部昭男/2015-17) 2年目の活動。
- ・教職協働に関連した申請を行った(代表:深野政之)
- ・「青年の発達保障」委員会をスタート(2016.5./世話人:西垣・川口)。MLを通じて情報交換。シリーズ本を用いた公開研究会の開催(①2016.7.23.第49回研究例会と兼ねて開催、②2016.10.1.龍谷大学梅田キャンパス)。東洋大学共同企画への協力。科研費(C)の申請。

〈学会通信〉

- ・年2回発行~第42号(2016.6.25.)、号外(2016.11.5.)、第43号(2017.2.1.)

〈理事会〉第VI期

- ・第4回理事会 2016年5月14日(北海道大学) / ・第5回理事会 2016年5月15日(北海道大学)
- ・第6回理事会 2016年7月23日(愛知工業大学) / ・第7回理事会 2016年11月20日(駒澤大学)
- ・第8回理事会 2017年3月4日(龍谷大学) なお、必要に応じてML理事会を開催。

〈会員現況〉

会員数: _____ [内訳 会員: _____ 協力会員: _____ (団体会員 _____ を含む)]

〈日本学術会議/教育関連学会連絡協議会〉

- ・日本学術会議協力学術研究団体に依頼のあった大学評価・学位授与機構の「機関別認証評価委員会専門委員」への候補者推薦 / 関連協第4回総会(2016.3.19 学習院大学) 蔵原

3. 2016年度決算(案) および監査報告 【別紙】

4. 2017年度活動方針(案) について

〈研究会等〉年3回~第51回=7月ころ、第52回=9月ころ、第53回=11月ころ

〈学会年報〉第13号の発刊(2017年夏ころ) / 第14号(2018)の編集

〈出版活動〉シリーズ本第8巻(蔵原企画)を刊行する / 第9巻以降の企画案を練る。

〈部会&委員会〉「漸進的無償化」「青年の発達保障」「教職協働」「大学政策・評価・ガバナンス」などの活動を継続する。加えて「(仮称) 高大接続改革検証委員会/部会」をスタートさせる。可能な範囲で科研費申請も追求する。

〈理事会〉第VI期9回(3/5)、10回(第52回研究会時)、11回(第53回研究会時)

〈学会通信〉年2回の発行 第44号(7月ころ)、第45号(冬)、必要に応じて臨時号

〈日本学術会議/教育関連学会連絡協議会〉情報の配信/関連協第5回総会への参加(2017.3.18.学習院大学、蔵原)

5. 2017年度予算(案) について 【別紙】

6. 第15回全国大会 九州地方の大学 2018年春(3/3-4)を予定

7. その他